

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 年頭あいさつ
- P5 青年部・女性部だより
- P6 専門家に聞く
経営ワンポイントアドバイス
- P7 人柄にじむ福島通販 シオクリビト
- P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

2022.1.1
Vol. 395



P2に掲載

高齢化社会に対応！
「電気屋さん」から「暮らしのパートナー」へ

南相馬市鹿島区・西町電化センター



P3に掲載

創業100年「伝統技術の継承」と
時代にあった商品開発への挑戦

白河市東・鈴木糰店

元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県中・県南 ひがし商工会

創業100年「伝統技術の継承」と時代にあった商品開発への挑戦



鈴木靴店 代表 鈴木 喜美氏

住所 〒961-0309 福島県白河市東深仁井田字天上林3
連絡先 TEL:0248-34-2047 FAX:0248-34-3570
営業時間 8:00~18:30
定休日 なし
Facebook https://www.facebook.com/suzuki.1921/

【事業所紹介】

「鈴木商店 こうじ屋」として大正10年に白河市東地区で創業しました。当時は各家で保存食として味噌を仕込み蓄えていたため、米を預り、靴に加工して配達することを主な仕事としていました。



その後、昭和35年に地域での学校給食開始に伴って味噌販売業も始め、今年で創業100年になります。その間、鈴木家は代々3世代、時には4世代が同居する家系を営み、全員が製造・営業をする「家族経営」として今日まで歩んできました。

当店の商品は定番の味噌のほか、甘酒・塩糰子・漬物などバリエーション豊富に揃えており、この季節は旬の大根を簡単に糰子漬けできる「大根漬けの素」が人気商品となっています。新商品の「す〜う甘酒ゼリー」は、甘酒が大好きな91歳の父が、こぼしたり、器の底に糰子が

残っているのを見て、柔らかいゼリー状にしてチューブに詰めれば、飲みやすくなるのではと後継者の息子を中心に開発を進めました。ネーミングは孫娘の「曾いちゃん、吸うんだよ。」という一言を取り入れた、家族みんなで造り上げた想いのある商品です。



【商工会の支援】

記帳代行支援を始め、各種施策活用や青年部・女性部活動など様々な形で商工会と繋がっています。広域協議会活動にも参加し、昨年は新商品の開発とメディアへの発信までを一貫して支援いただきました。新商品の発表会に向けて職員さんと毎日のように顔を合わせてデザインやメディアへのプレスリリース作成のアドバイスを頂きました。また今年度は、ECサイト事業「シオクリビト」にもお声がけいただきまして、初めてECサイトの作成にも取り組みました。早速注文も入ってきており、今後も期待できるそうです。

糰子は生き物です。環境、季節によって製造方法を変え自然や風土の力を借りながら伝統技術が手助けをして育てていきます。そういうところは商工会から頂くきっかけと後押しとの支援と同じなのかもしれません。これからも二人三脚で頑張っていきたいと思ひます。

【今後の目標】

今まで対面販売による会話や温もりを最も大切にしてきたにもかかわらず、コロナ禍でそれらが閉ざされて、まるでモノクロの世界に居るような感じさえしていました。しかし廻りを見渡せば、植物たちは四季ごとに自分の色の花を咲かせ、沈黙のまま次世代へと種や実をつける。その営みは、まるでコロナ禍に立ち向かっている様にさえ感じました。

そんな今だからこそ、もう1度しっかりと原点を見つめ直し、100年前に初代が、何を未来に伝えたかったのかを考えると、発酵食品の源である「糰子」に着目してくれたことに感謝の想いがあふれました。

温度、湿度、外気温、そして原材料となる米の確保と、その時代ごとに悪戦苦闘しながらも、それでも代々続けてきたことが、年間通して安定した糰子が製造できる今日に繋がっています。

お店の傍らに先代の写真を置きながら、これからも「温故知新」を芯にして、次世代にしっかりと伝統食品の良さを伝え続けていきたいと思ひます。

そして、糰子の力を追求しながら、健康食品の一端を担っていく商品作りに取り組むことが、私たちに課せられた使命であり、中小企業や小規模企業だからこそできる技なのだと思ひます。



浜通り 鹿島商工会

高齢化社会に対応! 「電気屋さん」から「暮らしのパートナー」へ



西町電化センター 代表 江袋 大輔氏

住所 〒979-2334 福島県南相馬市鹿島区西町2丁目8
連絡先 TEL:0244-46-5448 FAX:0244-46-5459
営業時間 8:30~18:00
定休日 日曜日

【事業所紹介】

南相馬市鹿島区にて、先代が昭和58年に開業して以来、家電販売業を営んでおります。「電球が切れたので交換して欲しい」「家電製品の使い方が分からない」「何か様子がおかしい」といったお客様の声に、訪問して直接対応できるのが家電量販店との最大の違いであり、長年に亘り地域の皆様にご愛顧いただけている理由であると思っております。



また、当店では太陽光発電やエコキュー

ト等の住宅設備及び電気工事、リフォームなども手掛けており、「お客様に便利で快適な生活を提供すること」をモットーに事業を続けてまいりました。

昨今のコロナ禍では、来店客数の減少により家電の売り上げが減少するなど厳しい影響を受けておりますが、一方で換気扇等の設備工事の需要が高まっており、そちらの対応に追われています。



【商工会支援内容】

こうしたコロナ禍の状況がいつまで続くのか、将来について不安を感じているなか、商工会から経営状況分析セミナーへのお声がけを頂きました。商工会には以前から決算相談や電子決済の導入について支援を受けており、また私自身、青年部活動に参加しているため、身近な相談相手です。感じている不安を払拭するきっかけになればと思ひ、セミナーに参加しました。

セミナーでは、損益計算書や貸借対照表の見方、キャッシュフロー、利益の仕組みなどを分かりやすくご説明いただき自社の数字に対する理解を深めるとともに、自社の分析を踏まえた上で目標を設定し、計画を立てて進めていくことが必要であると学びました。

また、後日開催された事業計画策定セミナーにも参加し、自社の強みや弱点などの把握の仕方や課題の抽出などについて、その考え方を知ることができました。両セミナーを通じて得た気づきは、考えていた事業展開の明確化につながりました。

【今後の目標】

今後、当地区においても高齢化は一層進むと考えられます。また、持続可能な社会の実現に向けてオール電化住宅等も伸長すると考えております。その中で、多種多様・個別での細やかな需要や、住宅リフォームの需要が増すと思っております。

このような需要に対応するには、当店のよう地域家電店の「いつでも来てくれる」「親身に相談に乗ってくれる」といった特徴は大きな強みとなります。この強みをさらに強化すべく、従業員の資格取得などによる知識・技術の向上やリフォームの提案力強化などに努めるとともに、青年部活動を通じてつながりを得た地域工務店との連携を深めることで、ニーズの多様化に対応できる体制整備を目指してまいります。

これらの取り組みを通じ、暮らしの事なら最初に相談していただけるような「暮らしのパートナー」となることを目標に、引き続き頑張っていきたいと思ひます。

青年部・女性部 だより

●令和3年度商工会青年部女性部合同トップセミナーⅡ開催!

令和3年11月18日(木)、郡山市「郡山ビューホテルアネックス」に於いて令和3年度商工会青年部女性部合同トップセミナーⅡが開催されました。コロナ禍であったため初の試みYouTubeライブ配信を行いました。

令和3年度青年部女性部主張発表報告会では、青年部・女性部県大会で最優秀賞受賞をした久之浜町商工会青年部 渡邊敬介 様、広野町商工会女性部 木村久美 様から発表を行っていただきました。今まで見る機会のない発表は、良い刺激になったとの意見が多くありました。



渡邊 敬介 様



木村 久美 様

パネルディスカッションでは、「SDGs及び商工会の活用法について」と題し、パネリストから各テーマに対し活発で自由な意見交換がされました。特に、事前アンケートで多かった「部員数減少による部の活動が制限」というテーマでは、パネリストからの活発な話がリーダーである部長の励みになったとの意見が多くありました。



パネルディスカッションの様子

パネルディスカッションの様子をYouTubeにアップロードしています

QRか、以下のURLよりご視聴ください
<https://youtu.be/gcrgKjK1bQ>



パネルディスカッション登壇者

ファシリテータ

- 全国商工会連合会 商工会未来創造本部長 **越智 俊之 様**

パネリスト

- 全国商工会女性部連合会 会長 **竹中 仁美 様**
- 福島県商工会女性部連合会 会長 **二瓶恵美子**
- 福島県商工会青年部連合会 会長 **菅野 昭則**
- 矢祭町商工会青年部 **押田 洋平 様**
- なすび 様**

●ポスターやカレンダーがお洒落なショッピングバッグに!

福島県商工会女性部連合会では、会員事業所などで使用し終えたポスターやカレンダーをショッピングバッグに再生する試みを始めました。厚手の紙や防水加工された紙が使われていることも多く、丈夫なショッピングバッグを作ることができます。また、印刷されたどの部分を使うかによって、デザイン的に優れた二つとないオリジナルバッグが作れます。作り方はYouTube配信をしたり、依頼があった際には各地で講習会を開催しております。県女連では今後も、資源を無駄にしないということを身近なところから情報発信してまいります。



エコバックの作り方動画をYouTubeにアップロードしています

QRか、以下のURLよりご視聴ください

<https://youtu.be/4J9duCKuwQg>



地元企業と地域に心から頼られる専門集団として

福島県商工会連合会会長 **轡 田 倉 治**



令和四年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員並びに役員の皆様には、日頃から地域経済の発展と地域振興の原動力となつてご活躍をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、本県は、東日本大震災・原発事故から十年が経過した今でも風評被害が続いており、人口減少や高齢化に伴う需要の低迷、購買力の低下、人手不足、後継者難などの課題、さらには、頻発する自然災害による事業資産の被災に加え、新型コロナウイルス感染症及び資源価格上昇の影響により、会員事業者の経営環境は、かつてなく厳しい状況にあります。

こうした中、昨年は、コロナ感染症がまん延する中、各種支援金や助成金、特別貸付融資をはじめ、飲食店応援前払利用券発行支援事業、持続化・いきいき支援の補助金支援事業、雇用確保の支援事業等に継続して取り組むとともに、聴き取りによる影響調査を基に、国、県等への要望活動を行うなど、会員事業者に寄り添った経営支援の充実強化を図り、心から頼られる商工会として災害に負けないふくしまの商工業の再生を目指して各般の事業に取り組んでまいりました。

特に、新しい生活様式に対応した新たなビジネスモデルの環として、対面販売での需要が見込めない状況下において、ECサイトを活用した、生産者の人柄等が溢れる「シオクリビト」福島通販事業を九月に開設し、継続的な販

路開拓支援を展開しています。また十一月には、知事を囲む商工会代表者会議及び商工会長トップセミナーを開催して、地域総合経済団体、並びに小規模事業者支援機関としての役割を担う商工会として、「ウイズコロナ時代における中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化」「原動力災害及び頻発する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化」「商工会による経営支援体制の機能強化」について知事に要望しました。

新年は、引き続きウイズコロナ対策、自然災害に係る復旧・復興、第二期復興・創生、風評払拭に取り組む、中小企業・小規模事業者に寄り添った地域密着の支援機関として、感染拡大の波の備えとともに、刻々と変化する経営環境を機敏に捉えながら、より「層きめ細かな伴走型支援を実践していかなければならない」と考えております。そのため、「商工会は、行きます!聞きます!提案します!」の会員満足向上運動を積み重ねながら、会員の皆様のニーズに応えられるよう、職員一人ひとりが会員事業者の抱える課題の真因を見極める支援能力の向上に努め、中小企業・小規模事業者の持続的発展を支えてまいります。

この未曾有の難局を、会員の皆様が一丸となって全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆様方の層のこ理解ご協力ご支援をお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

県民みんなで作る福島の未来

福島県知事 **内 堀 雅 雄**



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年、県民の皆様は、命と健康を守るため、感染症対策に総力を挙げて取り組んだ二年でした。そのような中、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックの開催を始め、全国新酒鑑評会での金賞受賞数八回連続日本一、トップブランド米「福、笑い」のデビューなど、明るい話題も数多くありました。

また、震災と原発事故から十年が経過し、この間、県民の皆様は懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、避難指示の解除や生活環境の整備が進み、昨年末には、葛尾村や大熊町の帰還困難区域の一部において準備宿泊が開始されたほか、福島イノベーション・コースト構想の進展、復興支援助道路である相馬・福島道路の全線開通など、復興に向けた取組が着実に前進しております。

一方で、複合災害からの復興はいまだ途上にあり、昨年政府が決定した「ALPS処理水の処分に関する基本方針」については、様々な懸念が示されています。県としては、喫緊の課題である新型感染症対策はもとより、引き続き、原子力災害に伴う複雑で困難な課題の解決に努めるとともに、地方創生・人口減少対策などに全力で取り組んでまいります。

まず、新型感染症対策としては、引き続き、県民の皆様に対し、基本的な感染防止対策の徹底をお願いするとともに、医療提供体制の充実・強化を図り、深刻な影響を受けている地域経済の再生・活性化にもしっかりと取り組んでまいります。

次に、避難地域の復興・再生につきましては、被災者の生活再建と産業・生業の再生を始め、廃炉と汚染水・処理水対策、帰還困難区域の復興・再生、風評と風化の問題など、現場の声にしっかりと耳を傾けながら、取組を進めてまいります。

また、新型感染症の影響により心身の健康状態の悪化が懸念されることから、健康増進に向けた取組を進め、全国に誇れる健康長寿県を目指してまいります。

さらに、価値観の変化や地方移住への関心の高まりを的確に捉えながら、地域資源を活用した、福島ならではの地方創生・人口減少対策を進めてまいります。

今年四月には、新たな福島県総合計画がスタートします。この計画の下、県民の皆様と力を合わせながら目標を二つつ実現してまいります。そして、県民の皆様一人一人が希望を持って暮らすことのできる未来を創るため、これからも果敢に挑戦を続けてまいります。今後とも、二層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

シオクリビト



福島県商工会連合会・県内88商工会は、2012年より東日本大震災・風評被害・豪雨被害に負けず努力する事業者に対して商品開発や販路開拓を支援しております。

新型コロナウイルスの脅威が瞬間に全国に拡がり生活様式や経営環境が一変しました。通信販売の需要がますます高まる中、地域の中小規模事業者が、限られた経営資源の中で、新たに通信販売に取り組む事は非常に困難です。

福島県連では、2021年より新たに地域の中小規模事業者が互いに足らざる経営資源を補いながら商品やサービスを展開する福島美味「通信販売」事業（人柄にじむ福島通販：シオクリビト）を開設し、小規模事業者の商品展開力と販売力の向上を図っていきます。



橋本広司民芸
張り子職人
橋本 広司

はしもひろし

福島県郡山市にある「デコ屋敷」の工房でその道一筋60年になる17代目の人形職人。幼い頃から、張り子人形を作る父や祖父の姿を見て育つ。ひょっとことしても活躍し、海外での公演経験もあり、メディア出演も多数。キレのあるひょっとこ踊りは必見。

シオクリビト#37



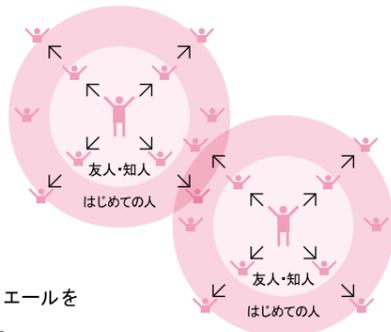
福島県商工会連合会ECサイト事業「シオクリビト」とは？

オンラインでモノを買うだけのECサイトではなく、事業者自身の情報を発信することにより事業者の顔が見えるECサイトです。事業者はシオクリビト（仕送り人）として商品を直接購入者に届けます。

「シオクリビト」は何があたらしい？

01 モノではなく
ヒトが入り口です。

人柄を知ること、その生産者から買いたいという想いが生まれる。また生産者自身が発信することで広がるつながりもある



02 人柄を通じてモノに出会い
福島が身近になっていく。

生産者の人柄を通じて、つくっているモノに愛着が湧くのはもちろん、生産者が根ざす地域の魅力にも惹かれるようになる



03 つくり手は品物を、買い手はエールを
相互のつながりが生まれる。

売り買いだけでなく、手紙をやりとりするように温かく、息の長い付き合いを続けてほしいという想いを込めている



シオクリビト

人を応援したくて買う
段ボール箱を開けるのが楽しい
届くのが待ち遠しい
エモーションルコマース（情緒取引）

いままでのECサイト

モノが欲しくて買う
段ボール箱を開けるのは作業
指定した時間に届く
エレクトロニックコマース（電子商取引）

経営

専門家に聞く

ワンポイントアドバイス

Vol.3

事業計画を作成してみよう！

新年あけましておめでとございます。福島県よろず支援拠点のコーディネーターで中小企業診断士の菅原毅彦と申します。今年もよろしくお願いたしますー！

「福島県よろず支援拠点」は、経済産業省が中小企業・小規模事業者等の様々な経営課題（例えば、「売上を増やしたい」「現場を改善したい」「資金繰りを楽にしたい」「事業計画を作らなければ」「等」を解決するため、各都道府県に設置した「何回でも無料」の相談窓口です。事業をされている方はもちろん、創業予定の方の相談も承っております。



第3回目のテーマは「事業計画を作成してみよう」です。今回のテーマは、これまでの「自社の『強み』を知ろう」「補助金を申請してみよう」に続くテーマです。一度、事業計画作成にチャレンジすることを勧めます！

なぜかといえますと…

- ① **事業計画を作成するメリット**
● 自分の事業を分析・言語化する機会になる。
分析することにより数字で事業の見直しができたり、事業を言葉にして客観化できたりするからです。
- これからすべきことが明確になる。
事業を分析していくことにより、「これからすべきこと」が浮かび上がってきます。
● 計画に対する実績について振り返ることが出来る。
振り返ることにより計画の上手いこと、上手いかなにかが明瞭になり、次の手が打てますね！
- 金融機関に対しての説明が具体的になる。
金融機関から資金調達などをするときは事業計画があるといいですね。創業する方は必須です。
- ② **事業計画書の構成**
では、どのように書けばよいのか？事業計画書の構成はざっくり言いつつ、以下のようになっています。

- ① **現在の事業内容説明**：自社の事業内容を分かりやすく記載する。文章だけでなく表とかグラフがあると具体性がたまりますね！
- ② **現状の分析**：自社の「強み」「弱み」、外部環境の「機会」「脅威」について書き出し、現在の収益状況について分析します。
- ③ **問題点の抽出**：②の現状分析を踏まえ、「あるべき姿はなんであるか」を念頭に置きながら問題点を抽出します。
- ④ **課題の策定**：問題点を解決する策を考え、数値目標を決めます。
- ⑤ **数値計画への落とし込み**：現在の損益状況に④の内容を落とし込んだ数値計画を作成します。

ざっと説明いたしました。どうでしたか。初めての方ですと、なかなか書き上げるのは難しいですが、福島県よろず支援拠点では、「コロナ禍の次を見据えた「事業計画」を作成するお手伝い」をしております。



菅原 毅彦
福島県よろず支援拠点
コーディネーター 中小企業診断士

H P <https://f-yorozu.jp/>
TEL 024-525-4064 (福島)
024-954-4161 (郡山)
E-Mail yorozu@f-open.or.jp



日本政策金融公庫



中小機構

成に限らず、何かに「チャレンジしたい」ことがありましたら「福島県よろず支援拠点」にご相談いただきたいと思っております。なお、事業計画についての参考QRコードも見てみてください。



あなたも家族もまるごと守る！頼れる補償の

商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

毎月ご加入いただけます!!

「けが」の補償のお支払事例

- 工作中、脚立から転落し、頭を打って、頭蓋骨を骨折。



シニアプラン加入
62日間入院で
300,000円
お支払い

※シニアプランの入院は3日目から補償

- 工作中、ベルトコンベアに左手を巻き込まれ、左腕を骨折。



2,000円コース加入
33日間入院で
93,000円
お支払い

- ゲレンデで、バランスを崩し転倒。右肩を強く打ち、肩腱板断裂。



2,000円コース加入
46日間入院で
368,000円
お支払い

- 風呂場で足が滑り転倒。足の捻挫と打撲、切り傷。



シニアプラン加入
58日通院と手術で
109,000円
お支払い

- 階段を下りる途中で踏み外し左膝を強打。膝の打撲と捻挫で接骨院に32日通院。



2,000円コース加入
通院30日分で
90,000円
お支払い

※接骨院・整骨院での柔道整復師による施術も通院の対象となります。(ただし、支払い日数限度あり)

- 道路を歩いていた時に段差に気付かず転倒。足首を骨折し、足首を32日間ギプスで固定。



2,000円コース加入
ギプス30日分と12日通院で
126,000円
お支払い

※ギプス固定をした場合も、30日を上限に通院扱いとなります。(ただし、固定部位に条件あり)

個人賠償責任保険のお支払事例

〈自転車による事故〉

- 自転車で走行中、わき見をしたために、前から来た人に気づかず衝突。

約**400万円**のお支払い

- 自転車で走行中、スマホを触り前から来た車に気づかず接触。

約**55万円**のお支払い



〈ペットによる事故〉

- 飼い犬のリードを外したときに、近所の方に飛びかかり転倒させ左大腿骨を骨折させた。

約**320万円**のお支払い

- 自宅に来たお客様が飼い犬に近づいたところ噛みつきこうとして鼻に裂傷を負わせた。

約**10万円**のお支払い



〈子どもによる事故〉

- 子どもが空き地で石を投げ遊んでいるときに、近所の方の玄関に当てて傷をつけた。

約**3万円**のお支払い

- 子どもが友達の家で遊んでいるときに、テレビに物を当て映らなくなった。

約**9万円**のお支払い



日常生活におけるうっかり事故でのお支払いも増えています。

INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください
(相談・支援は無料です)

特許

TEL 024-963-0242

商標

意匠

一般社団法人福島県発明協会

著作権

